

「グループホームふれあい館はもち」は、高効率設備や再生可能エネルギーの導入により、年間の一次エネルギー消費量を正味でゼロとすることに取り組む施設です。（環境省：ZEB事業）

● ZEB（Net Zero Energy Building：ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）

ZEB（ゼブ）とは、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。

ZEBは太陽光発電などによる「創エネ」、燃料電池などによる「蓄エネ」、高断熱化や電力消費の削減のような「省エネ」の“三位一体”によって、外部とのエネルギー収支を均衡させた建物です。

● 災害時における福祉避難所として佐渡市と協定を締結

- ①大規模地震、風水害及びその他の災害が発生した場合、高齢者、障がい者等配慮を要する高齢者の避難所として支援します。
- ②「グループホームふれあい館はもち」は、地域の防災・減災と低炭素を同時実現する自立・分散型エネルギー設備となっています。

※期待される効果・・・災害時等において、施設内で照明・空調等が利用可能となります。

① 外皮性能 (高断熱・高性能窓)	⑥ 太陽熱（給湯利用） 方位角180度 傾斜角30度
② 高性能空調機	⑦ 太陽光発電 方位角180度 傾斜角2度
③ 高効率給湯	⑧ コージェネ装置の導入 ※発電機によって電力を生み出すとともに、その際の排熱を給湯や冷暖房などに利用するシステム・設備
④ 換気設備	⑨ 高効率変圧器
⑤ 高効率照明	⑩ BEMS ※ビルエネルギー管理システム



ZEB認証プレート



発電システム稼働状況



施設上空写真

